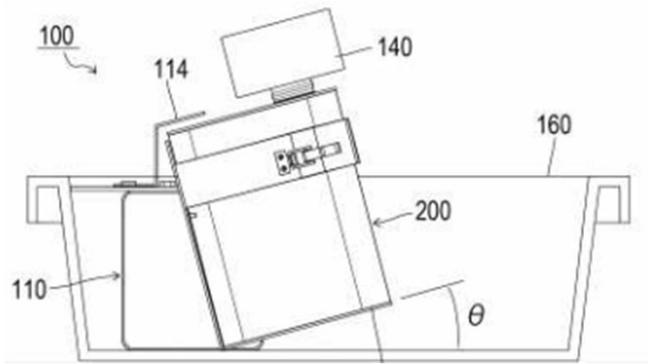


名称	誰でも簡単、ミスがなく採油ができる採油缶充填装置 (特願2023-185807 採油缶の満充填装置及び採油缶の満充填方法)	許諾 条件	通常実施権 譲渡不可
発明の目的	作業者の技量によらず採油缶への空気の混入を防止できる装置を提供すること。		
導入のメリット	<p>①採油缶を10～35度に傾けて保持する固定治具により、チューブが缶の底面まで到達し、空気混入の余地を残さない満充填が可能。</p> <p>②操作手順が標準化された構成により、作業者の熟練度によらない安定した採油が可能</p> <p>③チューブ先端のマーカ、マグネット式吸着、定角度ガイドなどの工夫より、缶のネジ口取り付けやチューブ挿通の誤りが減少し、採油作業をスムーズに実施可能</p>		
アピール内容	<p>従来の採油作業では、缶内に空気が残りやすく、分析結果に誤差が生じることがあり、そのため再採油や再分析が必要となり、時間とコストの無駄が発生していました。本技術では、採油缶を適切な角度で保持し、チューブを底面まで確実に挿入する構造を採用することで、空気混入を防ぎ、誰でも安定した満充填が可能になります。さらに、採油柵に設けたやマーカ、磁気吸着などの工夫により操作ミスを防止し、作業効率を向上させます。これにより、分析精度の信頼性を高め、再分析を不要にし、コスト削減と業務の効率化に大きく貢献します。</p>		

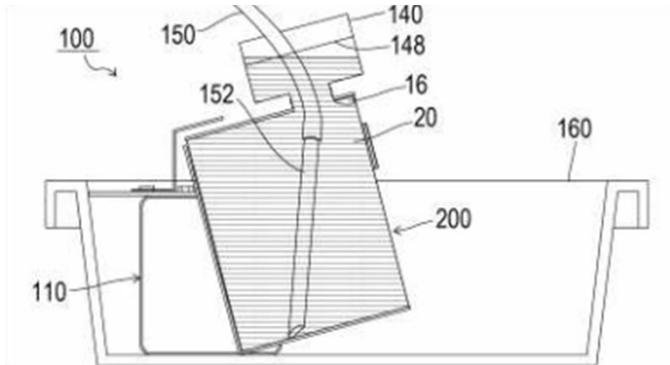
## ■使用方法

1



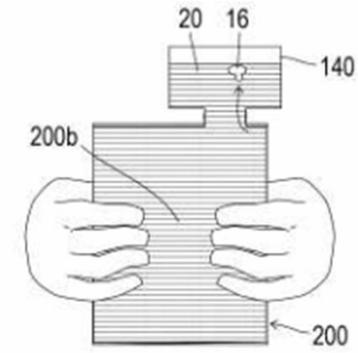
- ・背面板に採油缶を接触するように固定治具にセットする。  
背面板のマグネットとバンドにより、所定角度 ( $\theta$ ) を維持できる。

2



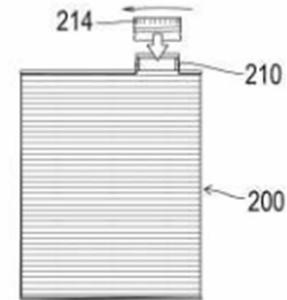
- ・チューブを採油缶の底に接触させた状態で絶縁油を採油缶に送る。  
採油升の内側に設けた基準線まで達したことを確認したら、絶縁油の注入を終了する。

3

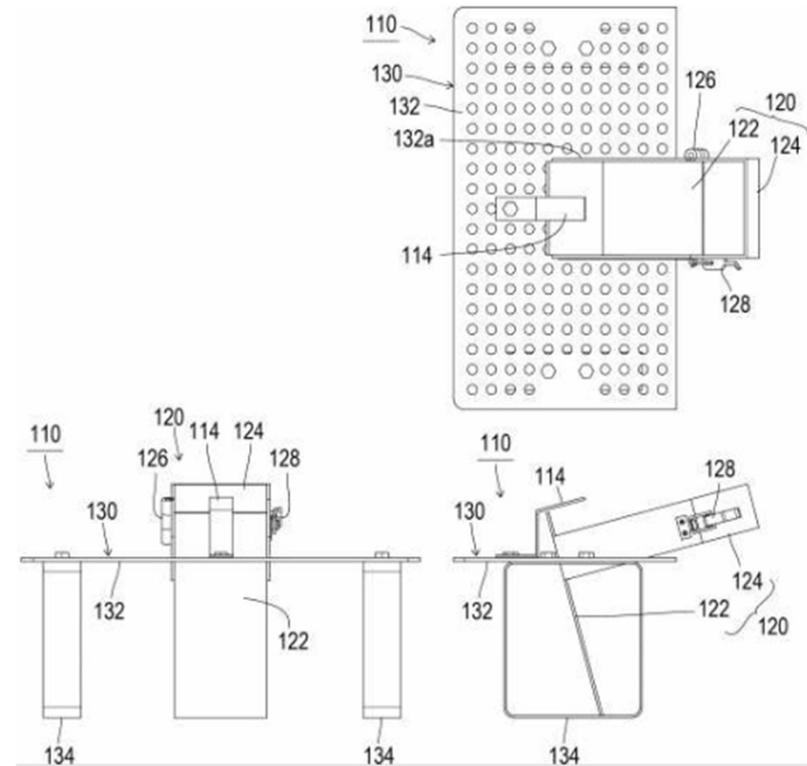
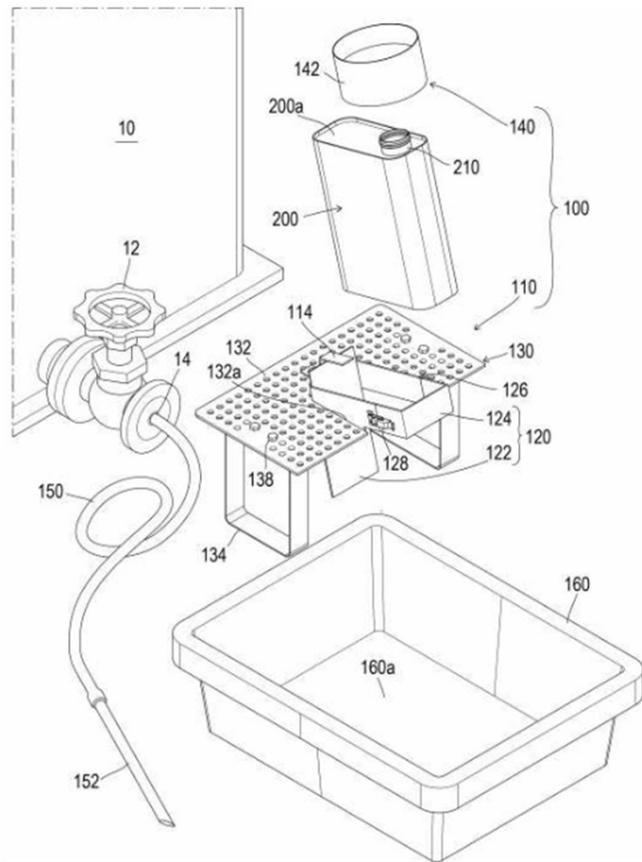


- ・絶縁油の注入終了後、固定治具から採油缶を取り外して、油に混入した空気を抜く（缶を手で揉む）。

4



- ・採油缶に内栓と外栓を取り付ける。



10…油入電気機器、14…吐出口、16…空気、20…絶縁油、100…満充填装置、110…固定治具、112…マグネット、114…規制ガイド、120…ホルダ、122…背面、124…バンド、126…ヒンジ、128…パッチン錠、130…スタンド、132…天板、132a…切欠、134…脚、138…ネジ、140…採油升、142…円筒部、144…底部、144a…開口、146…取付口、150…チューブ、152…パイプ、160…バット、160a…底面、200…採油缶、200a…上面、200b…側面、202…底面、210…ネジ口、212…内蓋、214…外蓋